

第1回日進市史編集委員会 議事録

日 時 平成22年8月23日（月）午前9時30分～午前10時50分
 場 所 日進市役所4階 第1会議室
 出席者 林董一委員、浅井常典委員、服部誠委員、田中八隆委員
 欠席者 山本文次委員
 事務局 吉橋教育部長、青山教育部参事、鈴木生涯学習課長、桧垣生涯学習課長補佐、菅原主事
 議 題 （1）会議の取り扱いについて
 （2）市史編さん事業の進捗状況について
 （3）「広報につしん」市史編さんに関するページの内容等について

発 言 者	発 言 内 容
事務局	ただいまより、平成22年度第1回日進市史編集委員会を開始いたします。 はじめに、教育部長よりご挨拶をさせていただきます。よろしくお願いいたします。
事務局	【挨拶】各専門部会の委員の皆さんには、精力的に活動していただいていることへの御礼。編集委員会には、市史編さんの元締めの位置付けとして、議論を深めていただきたい。
事務局	次に、委員の委嘱を行います。委嘱書については机上に用意させていただきました。委員の委嘱はこれに代えさせていただきますので、ご了承ください。 なお、委員の任期は平成22年4月1日から市史編さんが終了する予定の、平成27年3月31日までの5年間となっておりますので、ご了解いただきますようお願いいたします。
事務局	これより、委嘱されました委員の自己紹介をお願いいたします。 【委員の自己紹介】
事務局	次第に従い、代表を選出いたします。 日進市史編さんに関する規則第6条2項により代表を編集委員の互選により定めることとされております。また、同条4項により代理を定めることとされております。 立候補される方はいらっしゃいませんか。 立候補がないようですので、どなたかご推薦をお願いできませんでしょうか。
委員	代表に浅井常典委員を、代表代理に服部誠委員を推薦します。
事務局	代表に浅井常典委員、代表代理に服部誠委員と定めることに賛成の委員は拍手をお願いします。（拍手多数） それでは代表を浅井常典様に、代表代理を服部誠様にお願いいたします。
事務局	代表様、前の席に移動をお願いいたします。
事務局	それでは、改めて代表と代表代理よりひとことずつ御挨拶をお願いいたします。 ・・・代表・代表代理あいさつ
事務局	次に、協議事項に移ります。 このあとの議事進行は代表の浅井様をお願いいたします。
委員	では、協議事項（1）会議の取り扱いについて、事務局より説明をお願いします。
事務局	【要旨】会議は公開とする。ただし、個人が特定される事項については、非公開とする。会議録における発言については、個人を特定しない内容とする。会議録については、市ホームページ上で公開する。

代表	ご質問ありましたらお願いします。無い様ですので提案どおりお認めいただくということによろしいですか。
委員	意義なし
代表	次に協議事項（２）市史編さん事業の進捗状況について事務局より説明をお願いします。
事務局	【資料に沿って説明】
代表	事務局から説明がありましたが、補足説明がございましたらお願いいたします。
委員	日進市では、古い民俗が残っているので、調査をしていて楽しくなる。調査した内容は、データベース化し整理するので、市で活用してください。
委員	目次案については、調査が進む過程で変更されてくると思うが、都度報告していただきたいと考えています。
委員	配布された資料で、自然部会の出席委員の人数が会議により差があるが、なぜですか。
事務局	調査を進めながら専門部会において章立て・執筆分担等の計画を立てていく中で、執筆委員・執筆協力委員・調査協力委員のメンバーを増員し、当初 13 名でしたが、現在 17 名となっています。また、毎月開催している専門部会には、地質・植物・動物の分野のとりまとめをする執筆委員 6 名が代表して出席しています。巡検や全体会議には、最大 17 名の委員全員が対象となるので、会議の内容により、出席対象が異なるため、出席委員の人数に差がでました。
代表	次に協議事項（３）「広報にっしん」市史編さんページの内容等について事務局より説明をお願いします。
事務局	広報にっしん 11 月 15 日号で、市史編さん事業について説明をするページを 1 ページ確保しています。その内容について協議していただきたいと考えております。
委員	市民に市史編さん事業について興味を持っていただくようにアピールする場ですから、いろいろと書く必要は無く、なぜ事業が始まったのかということを記述すればよいのではないのでしょうか。
委員	「市史だより」というタイトルにするには、広報の 1 ページであることから違和感があります。市民に親しみやすい内容で、心にとめて読んでいただける内容にしたほうが良いと思います。調査をしながら市民と交流している様子など、写真を多くして視覚に訴えるページにはいかがでしょうか。
委員	このページは、何回分になるのか、また 1 年で何回掲載するのか、スケジュールを立てていただき、部会で相談したいと考えます。
事務局	今年度は、11 月と 3 月の 2 回分のページを確保しています。発刊まで 5 年の間に年 2 回ページを確保すれば、10 回分となる予定です。
委員	発刊が近づけば、広報誌に折り込む独自のチラシ・パンフレット等が必要となると思いますので、予算化に努力していただきたいと思います。
事務局	事務局案としては、市史の編さん事業についての概要や、理念等に触れた原稿を委員の皆様からいただいて掲載したいと考えています。
委員	市史編さんの目的等概要については、事務局が書けばよいのでは。
事務局	自然編と民俗編の目指す内容について、各部会長から簡単に原稿をいただければありがたい。
委員	字数・行数と締め切りを教えてください。

事務局	原稿文字数は15字×20行でお願いします。残り3行程度で写真とタイトルを入れ調整します。締め切りは、9月21日（火）でお願いします。
代表	次に協議事項（4）その他に移ります。事務局から何かございますか。
事務局	次回の編集委員会は、年度末の開催でよいでしょうか。編集委員会の位置づけや方針・運営についてのご意見はありますか。
委員	自然編と民俗編は、スタイルが異なるので細かな表現方法などについては、個々に専門部会で検討することでよいのではないかと考えています。
委員	体裁については、自然編がB5ならば、民俗編も同じで良いのではないかと考えています。
委員	刊ごとに番号はどのように振るのかなどは今後決定するのでしょうか。
事務局	現在のところ、計画が決定しているのは、民俗編と自然編の発刊のみです。通史編を出すことなど、全体計画については、市史編さん事業全体として決定されておりません。各刊に番号は振らず、民俗編・自然編という刊名になると想定しています。
委員	「日進市史」と、「史」の字を用いると、歴史を記述する書物として本文編・通史編が発刊されるように思う。将来展望を描いておかないといけないのではないかと。市民の皆様からも、本文編はどうするのか、というように受け取られる。自然編と民俗編しか発刊しないのであれば、ごんべんの「誌」として、あくまで町誌の補完であるという位置付けにすべきではないかと。
事務局	長期的な全体計画は認められていないが、自然編と民俗編だけで終わりとは考えておりません。最終的に、全体の歴史の集大成として通史編（本文編）を編さんしようという考えから、市史の構想をたて、歴史の「史」を使用した「日進市史」の編さん事業をスタートしています。
委員	蓄積される資料の保管を考えると、編さん室をつくって長期的に取り組むことが大切ではないかと。
事務局	今後、全体計画のことについては、検討していきます。
代表	他にご意見はありませんか。無ければ議事を終了させていただきます。
事務局	本日はありがとうございました。
	（午前10時50分 閉会）